

単元名 楽ふとドレミ

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070103_001

【教材名】キラキラおひさま（歌唱 器楽） ドレミの歌（歌唱 器楽） (P. 8～P. 11)

【準備等】範唱CD, オルガン, 鍵盤ハーモニカ, 音符カード, 鉄琴など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「キラキラおひさま」を歌ったり演奏したりし、音符や五線について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「きらきらおひさま」を歌詞唱する。 ★ドレミで歌ったりえんそうしたりしよう <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ・歌詞唱する。 ○＜楽ふのお話＞のページで、音符や記号、五線などについて知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・音符の名前と長さを知る。 ・音の長さを矢印で図に書き込む。 ・五線と音の高さについて知る。 ○「キラキラおひさま」を階名唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・五線の高さと階名について理解する。 ・楽譜を見て階名唱する。 ○「キラキラおひさま」を楽器で演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返り、楽譜を見ながら階名唱する。 ・運指唱をする。 ・「指くぐり」や「指またぎ」を確認する。 ・伴奏に合わせて、ゆっくり練習する。 ○「キラキラおひさま」を輪奏・輪唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・演奏に慣れてきたら、グループに分かれて演奏する。 ・階名唱グループと楽器グループに分けて、歌を楽器が追いかける形も試してみる。 <p>3～4 「ドレミの歌」を、音の高さに気を付けながら合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ドレミの歌」を歌詞唱する。 ★ドレミで楽しく歌おう <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を見ながら範唱を聴き、曲を思い出す。 ・アの部分を歌詞唱する ・教科書の網掛けの音の階名と、音の高さの関係を感じながら歌う。 ・アの部分をリズムや音程に気を付けて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・黒板の五線譜を見ながら歌う。 ・イウとエの部分の主旋律を、ゆっくりと階名を確かめながら歌う。 ・イウとエの部分の主旋律の階名を覚え、楽譜を見ながら歌う。 ・イウとエの部分を、ドレミのたいそうをしながら歌う ・全曲通して歌詞唱する。 ○「ドレミの歌」を二部合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返り、全曲歌詞唱をする。 ・イウとエの部分の主旋律の階名を確認しながら歌う。 ・ウの部分の下声部の階名を確認する。 ・二つのグループに分かれ、ウの上声部と下声部を重ねて歌う。 ・音の重なりを聴き取り、強弱やバランスに気を付けて歌う。 ○「ドレミの歌」を、楽器も加えて二部合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・アの網掛けの音を楽器で打って合わせる。 ・＜ドレミのたいそう＞など階名ごとに動作を付けて歌う。 ・明るくのびやかな声で歌い合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この段階で輪唱してもよい。 ・黒板に五線や音符を提示し、名称や表している長さを視覚的にわかりやすく示す。 ・既習のものと新出のものを確認する。 ・楽譜とドレミの関係を理解できるようにする ・P 9の図を基に視覚的にも理解させる。 ・五線と階名については、五線上に白抜きの音符のカードをいろいろな場所に動かして音符を読むなど、興味をもって取り組ませる。 【新出】付点2分音符 付点4分音符 ト音記号と五線 小節 縦線 終止線 【共通事項】音階 調 【評】曲想と、音階など音楽の構造や歌詞の内容を関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。 ・楽譜とドレミの関係を復習する。 ・「指くぐり」「指またぎ」は、2年生「ドレミのトンネル」の学習を思い出させる。 ・拍にのって合わせるように注意させる。 ・鍵盤ハーモニカで輪奏するのもよい。 【評】ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・この曲は1年生でも歌っている。4年生で学習する「サウンド オブ ミュージック」の挿入歌であることにも軽く触れる。 ・五線にハ長調の音階を書いたものを掲示し、視覚的にも楽譜と階名の関係を捉えるようにさせる。 ・1年生「どれみのたいそう」を参照すること 【共通事項】音階 調 【評】範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う活動を通して「技能」を評価する。 ・楽譜とドレミの関係を復習する。 ・「指くぐり」「指またぎ」は、2年生「ドレミのトンネル」を参照する。 ・拍に合わせるように注意させる。 ・声の大きさを競い合わないようにして、互いの声を聴き合って歌うようにする。 ・鉄琴やトーンチャイムなどで、網掛けの音を打つ。 【評】旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫する活

【 備 考 】